
forever 朝活

php 講座 日付の巻



【目次】

日付関数を使ってみる	2
strptime()関数とは.....	2
strptime()関数を使ってみる.....	3
太陽宮占いを作ってみる.....	4
星座の区切りを表す	4
13星座占いへの対応.....	7

日付関数を使ってみる

3回目の時は8桁の int で日付を表す方法をやりましたが、今回は Unit タイムスタンプを使ってやってみましょう。

strptime () 関数とは

strptime()関数は以下の様なフォーマットで引数を渡します。

```
int.strptime ( string $time [, int $now = time () ] )
```

上の記号が `strptime` の引数を表しています。 `int.strptime` ということは、return 値として int を返すことを表します。これは Unix タイムスタンプというもので、1970年1月1日 0:00 GMT からの経過秒数です。

一つ目の引数が、”21-3-2014”のような日付を表す文字列です。この書式は “-” を使うと英国風で “日-月-年” で表します。ただし、年を2桁にすると “年-月-日” となってしまいます。

“/” や “.” を使うとアメリカ風になり、“月/日/年” となります。ただし、年を2桁にすると1970年1月1日になってしまいます。

日本でよく使う “4桁年/月/日” は使えます。

2つ目の引数は普通は省略します。省略したら現在時間が使われます。という意味です。

使用方法はだいたい2種類あり、

- 1) 文字列をタイムスタンプに変換する
- 2) 指定時間あるいは現在から、書式で指定した日付した経過したタイムスタンプに変換する

です。

strtotime () 関数を使ってみる

では、文字列を Unix タイムスタンプに変換してみましょう。

sample1.php

```
<?php
$strDate = '25-2-2014';
$sintDate = strtotime($strDate);
echo '<p>変換前 : '.$strDate.'</p>';
echo '<p>変換後 : '.date('Y/n/j',$sintDate).'</p>';
?>
```

\$strDate の中身を色々変えて試してみましょう。

では、もう一つの使い方、指定した日付に変換していきましょう。

sample1 の日付の100日後を表示してみましょう。

sample2.php

```
<?php
$strDate = '25-2-2014';
$sintDate = strtotime($strDate);
$nextDate = strtotime("+100 day",$sintDate);
echo '<p>変換前 : '.date('Y/n/j',$sintDate).'</p>';
echo '<p>100 日後 : '.date('Y/n/j',$nextDate).'</p>';
?>
```

おなじく strtotime() を使って、“+100 day”のように指定します。
week, month, year など使えます。

色々やってみましょう。

ソース中で date() 関数を使っていますが、これは教科書でもやりましたね。

太陽宮占いを作ってみる

今度は簡単な太陽宮占いを作ってみましょう。太陽宮占いとは普通に星占いと言っているものと同じで、生まれた時の太陽が、黄道12宮（おひつじ座、おうし座など12個）のどの星座にあるかで性格などを占います。

入力するのは、月と日にします。実は年まで入れたほうが楽なのですが、入れたくない人が多いでしょうから、少しむずかしいですがやってみましょう。

星座の区切りを表す

おうし座は3月21日から4月19日までです。これを if 文で作ると、長くなってしまいますので、教科書でもやった、連想配列で持ちましょう。

以下の区切りを配列にします。

おひつじ座：3月21日から4月19日	てんびん座：9月23日から10月23日
おうし座：4月20日から5月20日	さそり座：10月24日から11月22日
ふたご座：5月21日から6月21日	いて座：11月23日から12月23日
かに座：6月22日から7月22日	やぎ座：12月24日から1月19日
しし座：7月23日から8月22日	みずがめ座：1月20日から2月18日
おとめ座：8月23日から9月22日	うお座：2月19日から3月20日

//星座の区切り

```
$kugiri = array("おひつじ座"=>"3/21-4/19","おうし座"=>"4/20-5/20",  
  "ふたご座"=>"5/21-6/21","かに座"=>"6/22-7/22","しし座"=>"7/23-8/22",  
  "おとめ座"=>"8/23-9/22","てんびん座"=>"9/23-10/23","さそり座"=>"10/24-11/22",  
  "いて座"=>"11/23-12/23","やぎ座"=>"12/24-1/19","みずがめ座"=>"1/20-2/18",  
  "うお座"=>"2/19-3/20");
```

これを foreach 文で読みだして、split 関数で分断すると、それぞれの星座の開始日と終了日

```
foreach($kugiri as $seK=>$seV) {  
  $seday = split("-", $seV); //開始と最後に分ける  
  $beday = split("/", $seday[0]); //月と日に分ける  
  $zengo = (($beday[0] >=4) || ($beday[0]==3 && $beday[1]>=21)) ? 2014 : 2015;
```

それぞれの日の月と日に分断できます。split は文字列を指定した文字で分断して、配列に割り振る関数です。便利ですのでよく使います。

年が入力されていないので、3月21日以降は2014年、3月20日以前は2015年と切り分けておきます。

```
if (($birth >= $begin)&&($birth<=$end)) {  
    $seiza = $seK;  
    break;  
}
```

そして、それぞれの区切りの日と、開始日、終了日が間にあるか調べて、あればその星座と振り分けます。

これで\$seizaに星座名が入るので、それをbodyの中で出力すれば出来上がりです。全部をまとめると次のようになります。

sample3.php

```
<?php
error_reporting(E_ALL ^ ~E_NOTICE ^ ~E_DEPRECATED);
//星座の区切り
$kugiri = array("おひつじ座"=>"3/21-4/19","おうし座"=>"4/20-5/20","ふたご座"
=>"5/21-6/21","かに座"=>"6/22-7/22","しし座"=>"7/23-8/22","おとめ座"=>"8/23-9/22",
"てんびん座"=>"9/23-10/23","さそり座"=>"10/24-11/22","いて座"=>"11/23-12/23",
"やぎ座"=>"12/24-1/19","みずがめ座"=>"1/20-2/18","うお座"=>"2/19-3/20");
if (isset($_POST)) {
    //年は入れてもらわないので、2014年にしてチェックする
    $bmonth = $_POST['bmonth'];
    $bday = $_POST['bday'];
    if(checkdate($bmonth,$bday,2012)) { //うるう年でチェック
        $zengo = (($bmonth>=4) || ($bmonth==3 && $bday>=21)) ? 2014 :
2015;
        $birth = strtotime(sprintf("%d-%d-%d",$bday,$bmonth,$zengo));
        foreach($kugiri as $seK=>$seV) {
            $seday = split("-", $seV); //開始と最後に分ける
            $beday = split("/", $seday[0]); //月と日に分ける
            $zengo = (($beday[0] >=4) || ($beday[0]==3 &&
$beday[1]>=21)) ? 2014 : 2015;
            $begin=strtotime($seday[0].'.'.$zengo);
            $enday = split("/", $seday[1]); //月と日に分ける
            $zengo = (($enday[0] >=4) || ($enday[0]==3 &&
$enday[1]>=21)) ? 2014 : 2015;
            $end=strtotime($seday[1].'.'.$zengo);
            if (($birth >= $begin)&&($birth<=$end)) {
                $seiza = $seK;
                break;
            }
        }
    } else {
        $bmonth = 0;
        $bday = 0;
    }
}
}
```

これだけでは、さみしいので、以下の URL にアクセスして、画像と文字をコピーして表示するようにしてください。

<http://eternalkagosima.chobi.net/birthdaystar/comment.html>

13星座占いへの対応

星占いは、数千年前に確立したものです。そのため、地球の首振り運動の関係で、春分点がおひつじ座からうお座にずれています。その辺りをそろそろ吸収して、さらに各星座の広さの違いを反映させたものにしようという動きの中から、さそり座といて座の間にへびつかい座があるじゃないかということで、13星座占いが生まれました。

以下のような区切りです。

おひつじ座：4月19日から5月13日
おうし座：5月14日から6月20日
ふたご座：6月21日から7月19日
かに座：7月20日から8月10日
しし座：8月11日から9月15日
おとめ座：9月16日から10月29日

てんびん座：10月30日から11月22日
さそり座：11月23日から11月29日
へびつかい座：11月30日から12月17日
いて座：12月18日から1月18日
やぎ座：1月19日から2月15日
みずがめ座：2月16日から3月10日
うお座：3月11日から4月18日

さて、さきのプログラムでどこを変えたらいいでしょう。自分でやってみましょう。

forever 朝活 php 講座

2014 年 2 月 20 日 初版発行

著作/制作：株式会社フォーエバー

〒890-0053 鹿児島市中央町 22-16 アエールプラザ 4F

TEL:099-296-9118 FAX : 099-250-2333 <http://www.forever.co.jp>

●本書は、構成・文書・プログラム・画像・データなどのすべてにおいて、著作権上の保護を受けています。

本書の一部あるいは全部について、いかなる方法においても複写・複製など、著作権法上で規定された権利を侵害する行為を行うことは禁じられています。